

投資と投機

HCアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者
加入協会

関東財務局長（金商）第430号
一般社団法人 資産運用業協会

<https://www.fromhc.com>

2026.10.06

人+産業金融=成長
成長を支える投資の原点へ



資産から将来創出される現金の源泉へ

投資判断の基本は、資産から将来創出される現金の源泉の分析に基礎をおかなくてはならない。将来現金を生まないものは、投資対象ではない。株式や社債が投資対象であるのは、発行体である企業が現金を生む限りにおいてである。そもそも、現金を生まないものは企業ですらならない。国債に投資価値があるのは、国として、現金を創出できる限りである。

投資とは

以下の要素が揃っていることを指す。第一に、資産から創出されるネット現金を受け取ること。資産が価値をもち、現金を創出する限り、投資が損失に帰着することはありません。第二に、将来現金を生む力を守ること。現金を生む力が低下すれば、その分、価値が下がり、資産の収益性が低下する。第三に、資産価値および将来創出される現金の量と質を改善する努力。資産の現金を生む力が強くなれば、あるいは現金を生む確実性が増せば、資産価値は上昇する。資産の属性を変更できる場合に、より重要になる。第四に、適切な銘柄、資産の選択をすること。銘柄選択や資産選択において、より価値の高いものへ入れ替えることは、投資の基本である。それだけではなくて、価値と価格が異なり得るという前提に立てば、同じ価値なら、より価格の安いものへ入れ替えることも、重要な投資行動になる。

投機とは

将来創出される現金の裏付けがないもの、即ち、投資の価値が測定できないもの。または、価格変動で利益を狙う取引のことを指す。投資との決定的な差は、投機は、個々の成功を生むにしても、その総体において、取引費用分だけ確実に損失となるのに対して、投資は、個々の失敗はあるにしても、その総体において、産業界が付加価値を創造し、経済が成長する限り、利益を期待できることにある。

投資と投機の関係性、そして直接現金を創出しないものでも、現金を創出できる仕組みを導入することで投資対象になりうる。

ヘッジファンドは洗練された投機

ヘッジファンドは投機を連想させるものの、市場に隠れた小さな非効率を発見し、利益化する戦略であるため、秘匿性やレバレッジが必要になる。自由度と秘匿性を備えているからこそ、厳しい投資規律のもと、高度に洗練されたリスク管理を行っているファンドを厳選することが必須である。

投資信託が投機となるとき

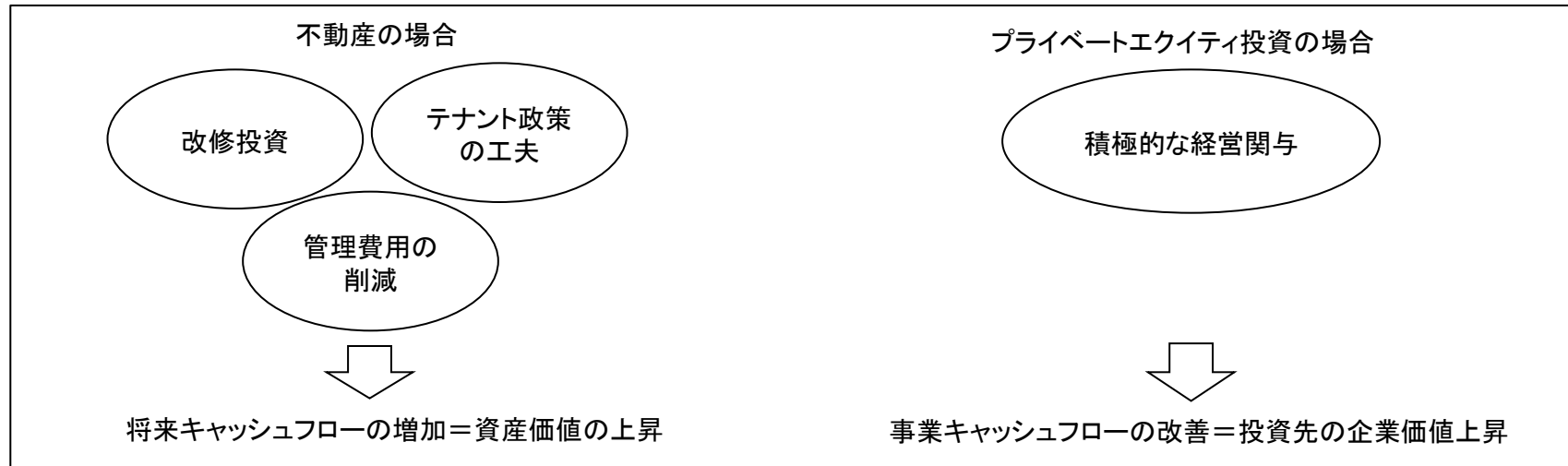
投資信託は資産形成の道具であり、資産形成の目的は、最終的には消費に充当されることであって、投資とは、資産形成期間中の収益により、より豊かな消費を実現する機能のことにほかない。投機は、ギャンブルとして、投機自体が消費であるのに対して、投資は、実生活上の消費目的を持つ。従って、投資本来の目的を実現するためには、投資信託は解約されなくてはならない。問題は、価格変動は投資目的に副わない心理的な解約を誘発し、投資していたはずの人は、下手な投機をする結果となり、損失を被ってしまうことである。

用語集もご参照ください <https://www.fromhmc.com/glossary/>

投資の本質

投資とは

1. 資産から創出されるネット現金を受け取ること。資産が価値をもち、現金を創出する限り、投資が損失に帰着することはない。
2. 将来現金を生む力を守ること。現金を生む力が低下すれば、その分、価値が下がり、資産の収益性が低下する。
3. 将来キャッシュフローの量と質を改善する努力。資産の現金を生む力が強くなれば、あるいは現金を生む確実性が増せば、資産価値は上昇する。資産の属性を変更できる場合に、より重要になる。



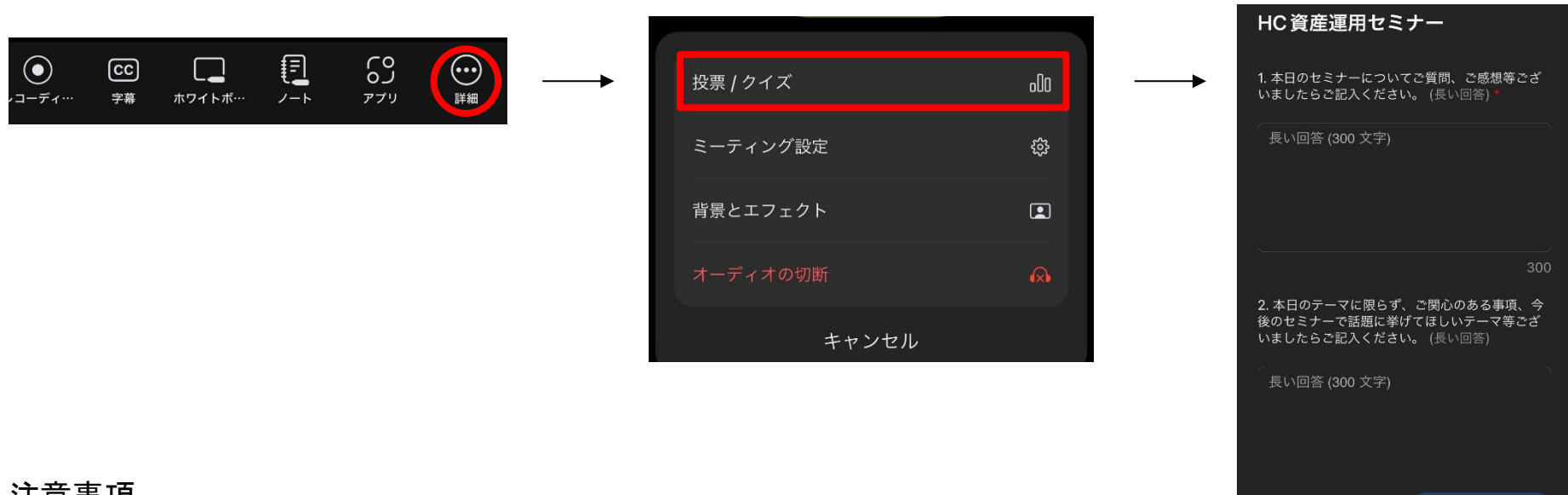
4. 適切な銘柄、資産の選択をすること。銘柄選択や資産選択において、より価値の高いものへ入れ替えることは、投資の基本である。それだけでなく、価値と価格が異なり得るという前提に立てば、同じ価値なら、より価格の安いものへ入れ替えることも、重要な投資行動になる。

投機とは

1. ディスカウント・キャッシュ・フロー（DCF: discounted cash flow）に基づかない判断であること。
2. 現金創造力がないものに投資すること。ただし、直接現金を創出しないものでも、現金を創出できる仕組みを導入することで投資対象になりうる。

講演後アンケート/注意事項

今後の運営に活かしたく、ご質問やご意見、ご感想、ご興味あるテーマなどを承っておりますので、ご自由にご意見をお寄せください。
回答方法: 各セミナー講演途上でZoom上で配信します。配信後は一度閉じた場合でも、以下の通り詳細から再表示できます。



注意事項

- 本セミナーは、資本市場における種々の投資対象や投資に関する概念等について解説・検討を行うものであり、当社が行う金融商品取引業の内容に関する情報提供及び関連する特定の金融商品等の勧誘を行うものではありません。
- 本資料中のいかなる内容も将来の投資成果及び将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。
- 本資料の著作権その他知的財産権は当社に帰属し、当社の事前の許可なく、本資料を第三者に交付することや記載された内容を転用することは固く禁じます。